

1

9月学院福音化：歩んできた30年の始まり

ダニエル

ダニ 1:8～9 ダニエルは、王の食べるごちそうや王の飲むぶどう酒で身を汚すまいと心に定め、身を汚さないようにさせてくれ、と宦官の長に願った。神は宦官の長に、ダニエルを愛しいつくしむ心を与えられた。

1. 心を定めたダニエル^{ダニ 1:8～9}

- 1) 理由を知る者
- 2) 理由がない者
- 3) 他の理由を持った者

2. 神様がくださった力

- 1) ダニエル 1:8～9
- 2) ダニエル 6:10
- 3) ダニエル 6:20、22

3. ダニエルに働かれた主

- 1) ネブカデネザル王の夢の解釈^{ダニ 2:1～49}、知者の長官になる
- 2) ペルシャツアルの文を解析^{ダニ 5:1～29}、大臣となる
- 3) ダリヨス王を感動させる^{ダニエル 6:10～22}、大臣の長となる

2

9月学院福音化：歩んできた30年の始まり

シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴ

ダニ 3:8～24 また彼の軍隊の中の力強い者たちに、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴを縛って、火の燃える炉に投げ込めと命じた。そこで、この人たちは、上着や下着やかぶり物の衣服を着たまま縛られて、火の燃える炉の中に投げ込まれた。王の命令がきびしく、炉がはなはだ熱かったので、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴを連れて来た者たちは、その火炎に焼き殺された。シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴの三人は、縛られたままで、火の燃える炉の中に落ち込んだ。そのとき、ネブカデネザル王は驚き、急いで立ち上がり、その顧問たちに尋ねて言った。「私たちは三人の者を縛って火の中に投げ込んだのではなかったか。」彼らは王に答えて言った。「王さま。そのとおりでございます。」(20～24)

1. イスラエルの滅亡と世界福音化

- 1) 福音を逃したイスラエル^{イザ 7:14}
- 2) 伝道を知らないイスラエル^{イザ 6:1～13}
- 3) 宣教を逃したイスラエル^{イザ 60:1～22}

2. わざわい時代

- 1) 奴隷^{出 3:1～10}
- 2) 戦争^{サム 17:1～47}
- 3) 捕虜^{イザ 6:1～13}

3. 世界福音化の機会^{ダニ 3:8～24}

- 1) ネブカデネザルの偶像^{ダニ 3:1～7}
- 2) 王の命令を拒否^{ダニ 3:8～18}
- 3) 火の中に入った Remnant^{ダニ 3:19～30}

3

9月学院福音化：歩んできた30年の始まり

エステル

エス 4:15～16 エステルはモルデカイに返事を送って言った。「行って、シュシャンにいるユダヤ人をみな集め、私のために断食をしてください。三日三晩、食べたり飲んだりしないように。私も、私の侍女たちも、同じように断食をしましょう。たとい法令にそむいても私は王のところへまいります。私は、死ななければならないのでしたら、死にます。」

1. イスラエル絶滅の危機

- 1) 出エジプト 1:1～22
- 2) 出エジプト 3:1～10
- 3) エステル 4:7～15

2. エステルの民族救い

- 1) 王妃となる エス 2:1～18
- 2) モルデカイの忠誠 エス 2:19～23
- 3) ハマンの陰謀 エス 3:7～15
- 4) エステルのいのちをかけた献身 エス 4:1～16

3. 歴史的な証拠 - プリムの日

- 1) 王の調書 エス 9:20
- 2) アダルの月の十四日 エス 9:21
- 3) 歴史の書物に記録 エス 9:32

4

9月学院福音化：歩んできた30年の始まり

出バビロン

イザ 6:13 そこにはなお、十分の一が残るが、それもまた、焼き払われる。テレピンの木や樅の木が切り倒されるようになる。しかし、その中に切り株がある。聖なるすえこそ、その切り株。

1. 神様の計画

- 1) 始まり イザ 6:1～13
- 2) 回復 イザ 7:14
- 3) 答え イザ 40:6～31
- 4) しるし イザ 43:18～21
- 5) Remnant 運動 イザ 60:1～22
- 6) 見張り人運動 イザ 62:6～12

2. 繰り返されるわざわいを食い止めること

- 1) 福音運動
- 2) 伝道運動
- 3) 宣教運動

3. 新しい神殿 ハガ 2:1～9